

## ダイワ世界債券ファンド(毎月分配型)(愛称:ワールドプライム) 第56期分配金は25円(1万口当たり、税引前)

大和証券投資信託委託株式会社

平素は、『ダイワ世界債券ファンド(毎月分配型)(愛称:ワールドプライム)』をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。  
さて、当ファンドは、8月20日に第56期計算期末を迎え、当期の収益分配金につきまして、1万口当たり25円(税引前)と致しましたことをご報告申し上げます。

第56期決算(10.8.20)にかかる収益分配金を従来の35円から25円に引き下げましたのは、現在の分配対象額の水準などを総合的に勘案した結果、決定したものです。第46期決算(09.10.20)に分配金を50円から35円に引き下げましたが、それ以降も分配対象額の水準が低下し、分配金のさらなる引き下げが必要との判断に至りました。

今後ともファンド運用にあたっては、パフォーマンスの向上をめざしてまいりますので、引き続きお引き立て賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

※ 分配金額は、決算の都度、収益分配方針に基づき委託会社(大和投資信託)が決定しますので、将来の分配金額について、あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。今後の市場環境や運用状況によっては、分配金額の変更あるいは分配金が支払われない場合もあります。

### 基準価額・純資産・分配の推移

(基準日:10.8.20)

純資産総額 1,844億円

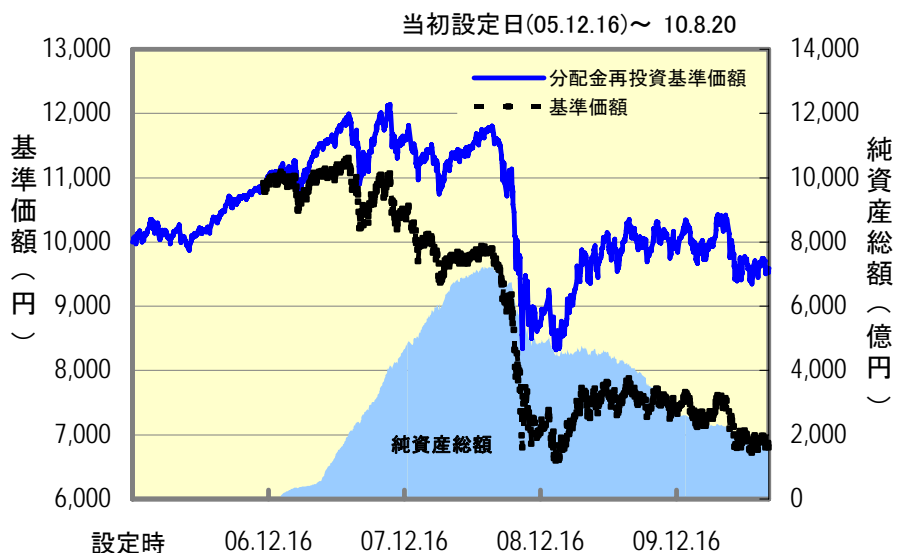
基準価額 6,804円

#### 《分配の推移》(1万口当たり、税引前)

決算期(年.月.日)	分配金
第1～第51期 合計:	2,900円
第52期 (10.4.20)	35円
第53期 (10.5.20)	35円
第54期 (10.6.21)	35円
第55期 (10.7.20)	35円
第56期 (10.8.20)	25円

分配金合計額 設定来: 3,065円

直近5期: 165円



※ 基準価額の計算において信託報酬は控除しています(後述のファンドにかかる手数料等についてをご覧ください)。

※ 「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

※ 上図は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

※ 分配金額は、決算の都度、収益分配方針に基づき委託会社(大和投資信託)が決定しますので、将来の分配金額について、あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。今後の市場環境や運用状況によっては、分配金額の変更あるいは分配金が支払われない場合もあります。

#### 当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。■当ファンドの取得をご希望の場合には、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目録見書)」の内容を必ずご確認のうえ、投資に関する最終決定はお客様ご自身でご判断ください。■当ファンドは、値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料中における運用実績等は、過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。■分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

## よくあるご質問 (Q&A集)

**Q1** なぜ、分配金が引き下げられたのですか？

**A1** 収益分配方針、現在の分配対象額の水準などを総合的に勘案した結果、分配金を引き下げました。

### さらに詳しく

弊社の分配金の考え方は、ファンドの収益分配方針、分配対象額の水準、配当等収益の水準、基準価額の水準、市場環境等を総合的に勘案して分配金額を決定するというものです。

当ファンドの分配金を引き下げましたのは、現在の分配対象額の水準などを総合的に勘案して決定したものです。第46期決算(09.10.20)に分配金を50円から35円に引き下げました。しかし、それ以降も、分配金については、期中に得られる配当等収益を超える額は過去の蓄積等からなる「分配準備積立金」および「収益調整金」を充当してまいりました。その結果、分配対象額の水準が低下し、分配金のさらなる引き下げが必要との判断に至りました。

なお、当ファンドの収益分配方針は、以下のとおりとなっています。

- ◆分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とします。
- ◆原則として、安定した分配を継続的に行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、基準価額の水準等によっては、上記にかかわらず今後の安定分配を継続するための分配原資の水準を考慮したうえで分配をすることがあります。
- ◆分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。

※分配金額は、決算の都度、収益分配方針に基づき委託会社(大和投資信託)が決定しますので、将来の分配金額について、あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。今後の市場環境や運用状況によっては、分配金額が変更されたり、あるいは分配金が支払われない場合もあります。

### 当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。■当ファンドの取得をご希望の場合には、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、投資に関する最終決定はお客様ご自身でご判断ください。■当ファンドは、値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料中における運用実績等は、過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。■分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

## よくあるご質問 (Q&amp;A集)

**Q2** 配当等収益と分配対象額の状況を教えてください。

**A2** 第56期(10.8.20)について、期中の配当等収益は、23円となっています。また、分配対象額は分配金支払い前で78円に減少しています。

## さらに詳しく

期中に得られる配当等収益(経費控除後)は、円高等による円換算した外債の受取利金の減少の影響で、第56期(10.8.20)では23円となっています。

分配対象額は、第56期(10.8.20)では分配金支払い前で78円に減少しています。内訳は経費控除後配当等収益23円、経費控除後・繰越欠損補填後売買益0円、分配準備積立金52円、収益調整金3円でした。また、下の表(分配金の計算過程)にあるとおり、第45期(09.9.24)から第56期(10.8.20)まで当ファンドでは分配金の一部を過去の蓄積等からなる「分配準備積立金」および「収益調整金」の勘定からお支払いしてきました。

## 分配金の計算過程(単位:円、1万口当たり・税引前)

(単位:円、1万口当たり・税引前)

	配当等収益	有価証券売買等損益		分配準備積立金③	収益調整金④	分配対象額 (分配金支払い前) ①+②+③+④	収益分配金	分配金支払い後 基準価額
		経費控除後 配当等収益①	経費控除後・ 繰越欠損補填後 売買益②					
第45期	09.9.24 分配金内訳	37 25	△ 72 0	97 0	88 25	211	50	7,536
第46期	09.10.20 分配金内訳	27 18	112 0	98 0	64 17	188	35	7,634
第47期	09.11.20 分配金内訳	32 18	△ 134 0	105 0	47 17	176	35	7,488
第48期	09.12.21 分配金内訳	31 18	△ 70 0	110 0	31 17	164	35	7,405
第49期	10.1.20 分配金内訳	31 18	131 0	114 2	15 15	158	35	7,525
第50期	10.2.22 分配金内訳	33 18	△ 160 0	122 17	1 0	148	35	7,353
第51期	10.3.23 分配金内訳	29 18	△ 87 0	111 16	2 1	134	35	7,252
第52期	10.4.20 分配金内訳	29 18	200 0	97 16	2 1	127	35	7,440
第53期	10.5.20 分配金内訳	30 21	△ 430 0	89 12	2 2	114	35	6,994
第54期	10.6.21 分配金内訳	31 18	24 0	77 17	1 0	105	35	7,006
第55期	10.7.20 分配金内訳	27 18	△ 193 0	68 17	2 0	90	35	6,797
第56期	10.8.20 分配金内訳	29 13	10 0	52 10	3 2	78	25	6,804

※ 円未満は四捨五入しています。下段の数値は、収益分配金の内訳です。

※ 分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

※ ダイワ世界債券ファンド(毎月分配型)(愛称:ワールドプライム)は、第12期から分配を行なっております。

※ ダイワ世界債券ファンド(毎月分配型)(愛称:ワールドプライム)の決算日は、第12期まで毎月5日(休業日の場合、翌営業日)決算であり、第13期以降は、毎月20日(休業日の場合、翌営業日)決算となっています。

■ 分配準備積立金---期中の配当等収益や有価証券売買益などのうち、当期の分配金に充当しなかった部分は、分配準備金として積立てます。分配準備積立金は、次期以降の分配金に充当することができます。

■ 収益調整金---追加型の投資信託において、追加設定が行なわれることによる既存受益者への分配対象額の希薄化を防ぐために設けられた勘定です。

## 当資料のお取り扱いにおけるご注意

■ 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。■ 当ファンドの取得をご希望の場合には、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目録見書)」の内容を必ずご確認のうえ、投資に関する最終決定はお客様ご自身でご判断ください。■ 当ファンドは、値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。■ 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。■ 当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■ 当資料中における運用実績等は、過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■ 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。■ 分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

## よくあるご質問 (Q&amp;A集)

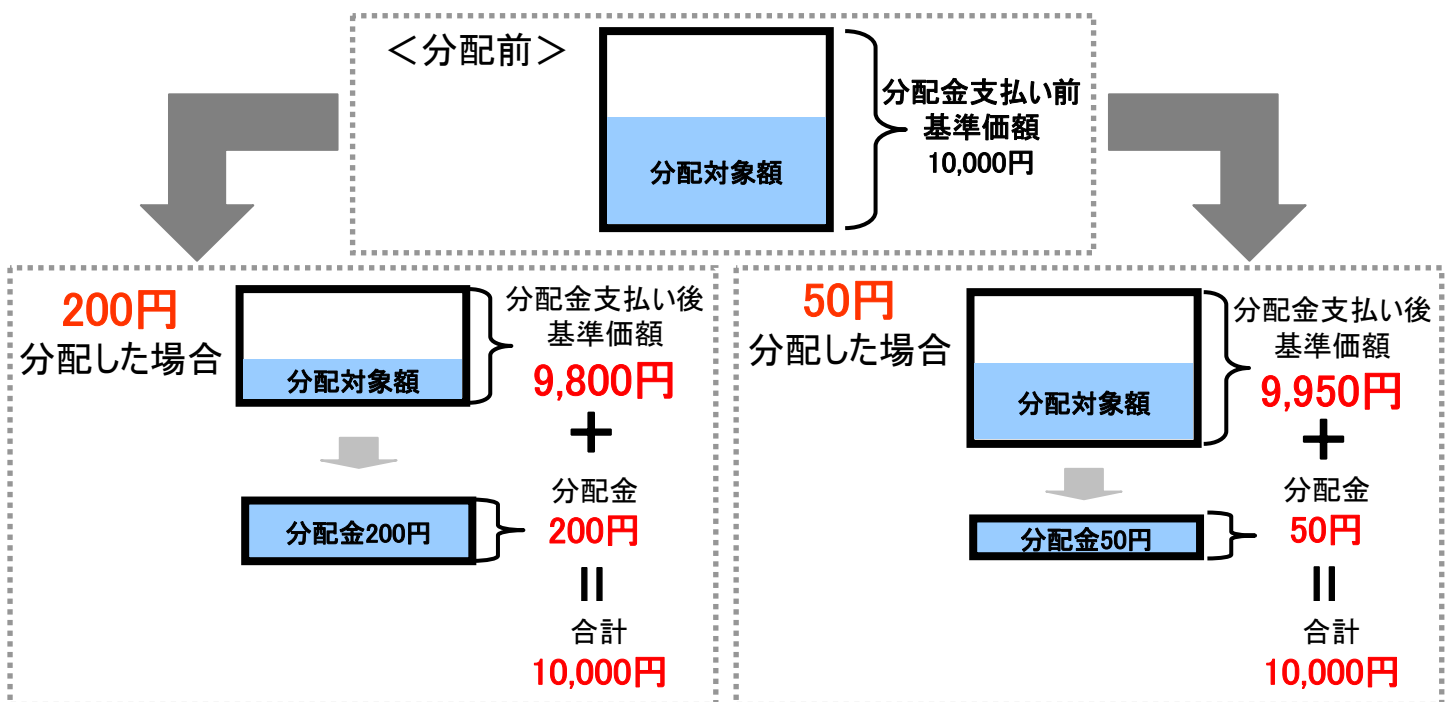
**Q3** 分配金の少ないファンドは多いファンドより劣後しているのですか？

**A3** 分配金の多寡でファンドの優劣は判断できません。分配金は運用資産の一部をお支払いするものです。そのため分配金を多くお支払いすると分配金支払い後の基準価額は分配金支払い前の基準価額に対して大きく下がることになります。

## さらに詳しく

イメージ図をご覧ください。分配金支払い前基準価額が10,000円で「200円分配した場合」は、分配金支払い後の基準価額は9,800円となります。一方、「50円分配した場合」は、分配金支払い後の基準価額は9,950円となります。つまり、分配金を引き下げたとしても(この場合200円から50円へ)、その分(150円)はファンド内に残され分配金支払い後基準価額に反映されます。(50円分配した場合のほうが200円分配した場合に比べて分配金の支払いが少ない分、分配金支払い後基準価額の下落は小さくなります。)

## &lt;イメージ図&gt; 分配金と基準価額の関係



※特定商品の分配金を示唆するものではありません。

※上図は分配金と基準価額の間をわかりやすくご説明するためのイメージです。

※決算日前日と当日を比較した場合、保有資産価値の変動等により基準価額は変化します。したがって、保有資産の値上がり等が分配金として支払う額を上回る場合には、分配金支払い後基準価額は前日と比べて上昇する場合があります。

## 当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。■当ファンドの取得をご希望の場合には、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、投資に関する最終決定はお客様ご自身でご判断ください。■当ファンドは、値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料中における運用実績等は、過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。■分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

## よくあるご質問 (Q&A集)

**Q4** 分配金を引き下げるということは、今後の運用に期待できないということですか？

**A4** 分配金の引き下げは、今後の運用実績とは何ら関係するものではありません。

### さらに詳しく

今回の分配金引き下げについての考え方はQ1のとおりであり、分配金の引き下げは、今後の運用実績とは何ら関係するものではありません。

通貨を分散し、先進国を中心とした海外の高格付けの債券等に投資する当ファンドへの投資は引き続き有効だと考えています。投資対象国の金利は全般に低下したものの、わが国より金利水準が高く、相対的に高い利息収入を中長期で積み上げ、為替等の変動による価格変動リスクを低減する投資方法の有効性に変化はないと考えられるためです。

**Q5** 25円分配はいつまで続けられる見通しですか？

**A5** 分配金は、収益分配方針に基づき、今後数期にわたって安定継続できるよう配慮して決定しています。ただし、将来の分配金額について、あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。

### さらに詳しく

当ファンドの収益分配方針において「原則として、安定した分配を継続的に行なうことを目標に分配金額を決定します。」と定めています。当該方針に基づき分配金は、今後数期にわたって安定継続できるよう配慮して決定しています。ただし、将来の分配金額について、あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。今後の市場環境や運用状況によっては、分配金額が変更されたり、あるいは分配金が支払われない場合もあります。特に、分配対象額の減少、円換算の配当等収益の低下、基準価額の下落などは分配金の引き下げ要因となります。

### 当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。■当ファンドの取得をご希望の場合には、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、投資に関する最終決定はお客様自身でご判断ください。■当ファンドは、値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料中における運用実績等は、過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。■分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

## よくあるご質問 (Q&A集)

**Q6** どのような状況になれば、分配対象額は増加しますか？

**A6** 基準価額が1万円程度に回復するまでは、分配対象額の増加は期待しにくいものと考えられます。

### さらに詳しく

当ファンドの分配対象額は経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等です。経費控除後の配当等収益については現状では20円台で推移しており、ほとんど分配に回されています。また、売買益については期中に売買益が得られても、繰越欠損金(売買損の累計額)がある場合には、売買益をもってこれを補てんします。このため現時点では基準価額が1万円程度に回復するまでは、分配対象額の増加は期待しにくいものと考えられます(※あくまでも現時点の想定であり、追加設定等の状況により変化しますので必ずこのようになることを保証するものではありません。)

**Q7** 分配金を事前に知ることはできないのですか？

**A7** 決算日(毎月20日、休業日の場合は翌営業日)の夕方から夜にかけての公表までは、分配金をご確認いただくことはできません。

### さらに詳しく

分配金はファンドの決算日(毎月20日、休業日の場合は翌営業日)の夕方から夜にかけて委託会社(大和投資信託)が決定します。分配金決定後は委託会社のホームページ(<http://www.daiwa-am.co.jp/>)で基準価額とともに分配金を公表します。公表までは、分配金をご確認いただくことはできません。

### 当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。■当ファンドの取得をご希望の場合には、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、投資に関する最終決定はお客様ご自身でご判断ください。■当ファンドは、値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料中における運用実績等は、過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。■分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

## よくあるご質問 (Q&amp;A集)

**Q8** 前回の分配金引き下げ以降の運用状況について教えてください。

**A8** 為替要因の大幅なマイナスが債券要因のプラスを上回ったことで、ファンド全体ではマイナスとなりました。

## さらに詳しく

当ファンドの基準価額は、前回分配金を引き下げました2009年10月20日の7,634円から、2010年8月13日現在では6,871円となっています。同じ期間の分配金再投資基準価額は、10,214円から9,600円まで値下がりしており、当該期間の騰落率は-6.00%となっています。

以下の表は、当該期間の当ファンドの項目別要因分析を示したものです。債券要因は米ドル、カナダ・ドル、豪ドル、英ポンド、ユーロ、北欧・東欧の各通貨圏でプラスとなり、全体では基準価額が5.06%値上がりする要因となっています。また、為替要因とは、外貨建て資産の対円為替相場の変動による損益(実現および評価損益)が基準価額へ及ぼした影響を表しています。為替市場ではすべての投資対象通貨に対して円高が進行した影響により、為替要因が基準価額に対して-10.02%の大幅なマイナス寄与となりました。

## &lt;項目別要因分析&gt; (2009年10月20日から2010年8月13日まで)

分配金再投資基準価額	変化	債券要因	為替要因	信託報酬要因等
2009/10/20 10,214	-613.2	516.5	-1,023.1	-106.5
2010/08/13 9,600	-6.00%	5.06%	-10.02%	-1.04%

※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

※「分配金再投資基準価額」は、小数点以下第1位を四捨五入して表示していますが、変化および騰落率は小数点以下を反映しています。

## &lt;通貨別要因分析&gt;

債券要因	米ドル	カナダ・ドル	豪ドル	英ポンド	ユーロ	北欧通貨			東欧通貨		
	米	カナダ	豪州	英国	ユーロ圏	スウェーデン	デンマーク	ノルウェー	ポーランド	チェコ	ハンガリー
2009/10/20比:円	103.3	74.1	102.5	88.2	71.5	17.1	41.5	9.9	9.7	0.2	-1.4
騰落率	1.01%	0.73%	1.00%	0.86%	0.70%	0.17%	0.41%	0.10%	0.10%	0.00%	-0.01%
通貨圏計(2009/10/20比:円)	103.3	74.1	102.5	88.2	71.5				77.0		
騰落率	1.01%	0.73%	1.00%	0.86%	0.70%				0.75%		
為替要因	米ドル	カナダ・ドル	豪ドル	英ポンド	ユーロ	北欧通貨			東欧通貨		
	米	カナダ	豪州	英国	ユーロ圏	スウェーデン	デンマーク	ノルウェー	ポーランド	チェコ	ハンガリー
2009/10/20比:円	-92.3	-95.7	-106.2	-162.8	-307.3	-48.9	-105.4	-37.2	-41.4	-11.7	-14.2
騰落率	-0.90%	-0.94%	-1.04%	-1.59%	-3.01%	-0.48%	-1.03%	-0.36%	-0.41%	-0.11%	-0.14%
通貨圏計(2009/10/20比:円)	-92.3	-95.7	-106.2	-162.8	-307.3				-258.9		
騰落率	-0.90%	-0.94%	-1.04%	-1.59%	-3.01%				-2.53%		
要因総計	米ドル	カナダ・ドル	豪ドル	英ポンド	ユーロ	北欧通貨			東欧通貨		
	米	カナダ	豪州	英国	ユーロ圏	スウェーデン	デンマーク	ノルウェー	ポーランド	チェコ	ハンガリー
2009/10/20比:円	11.0	-21.5	-3.8	-74.6	-235.8	-31.9	-63.9	-27.2	-31.7	-11.6	-15.6
騰落率	0.11%	-0.21%	-0.04%	-0.73%	-2.31%	-0.31%	-0.63%	-0.27%	-0.31%	-0.11%	-0.15%
通貨圏計(2009/10/20比:円)	11.0	-21.5	-3.8	-74.6	-235.8				-181.9		
騰落率	0.11%	-0.21%	-0.04%	-0.73%	-2.31%				-1.78%		

※上記要因分析は、基準価額の変動要因の傾向を把握するために大和投資信託が日々のデータをもとに簡便法により算出した概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。計算にあたっては、「分配金再投資基準価額」を用いています。「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。なお信託報酬要因等には、信託報酬のほか、コスト等其他要因が含まれます。

※上記データは過去の実績を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。

## 当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。■当ファンドの取得をご希望の場合には、販売会社よりお渡する「投資信託説明書(交付目録見書)」の内容を必ずご確認のうえ、投資に関する最終決定はお客様ご自身でご判断ください。■当ファンドは、値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料中における運用実績等は、過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。■分配金は、収益配分方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

## よくあるご質問 (Q&amp;A集)

**Q9** 今後の見通しを教えてください。

**A9** 世界的な景気回復は継続する見通しであり、世界的に豊富な投資資金が、より高いリターンを求めてリスクを積極的に取る姿勢を強めていくことにより、総じて円安傾向に転じていくと考えております。

## さらに詳しく

(米国)

実質ゼロ金利政策が長期化しそうであり、米ドルの対円為替相場下落圧力となりそうです。しかしながら、景気回復ペースは減速する可能性がやや高まっているものの、再び景気後退に陥る可能性は低いと考えており、大幅な為替相場下落にはつながらないと考えております。

(カナダ)

国内経済は堅調に推移しており、2010年6月から金利水準の正常化をめざして利上げが開始されました。今後も緩やかなペースの利上げが継続されるとみており、為替相場を下支えしそうです。また、財政赤字の対GDP(国内総生産)比率が先進国の中では低く、ソブリン・リスク(国家の信用リスク)が懸念される局面でも安心感の高い通貨となりそうです。

(ユーロ圏)

南欧など一部のユーロ加盟国の財政状況への懸念が早期に解消されることは困難であり、ユーロ為替相場は上値の重い展開が続くそうです。しかしながら、ユーロ圏全体で財政問題を解決していく過程で、ユーロの政治的な統合が次第に強まることが期待されることから、長期的にはより強い基盤を有する通貨になると考えられます。

(英国)

低金利政策は当面維持されそうですが、新政権が財政改革に積極的に取り組む姿勢を表明していることや、中央銀行が景気回復ペースの鈍化に対して量的金融緩和を再開する姿勢を打ち出していることから、他国に比べて経済成長を重視していることが評価され、為替相場は相対的に堅調な推移が見込まれます。

(北欧・東欧)

スウェーデンやノルウェーでは、緩やかなペースながら利上げが継続されそうであり、両通貨の下支え要因となりそうです。また、デンマーク通貨は、ユーロに対して引き続き安定した推移となりそうです。東欧通貨については、引き続き投資家のリスク選好姿勢の影響を受けそうですが、世界的な景気回復は続く見通しであり、世界的な株価上昇の恩恵を受けやすい通貨となりそうです。

(豪州)

先進国の中で最も高い政策金利水準にあり、世界的な株価上昇局面では、投資家のリスク選好回復に伴って豪ドルが買われやすいなど、世界的な株式市場動向と豪ドル為替相場の連動性が高い状態が続いています。また、中国向けの輸出が国内景気に与える影響が大きいとみなされているため、中国経済に敏感な展開が続くそうです。豪州経済の拡大ペースは先進国の中では相対的に順調であり、基本的には豪ドルの上昇傾向は継続すると考えています。

世界経済の景気回復傾向は継続するとみており、世界の潤沢な投資資金が高いリターンを求めて活性化していくとみております。当ファンドは、先進国を中心にさまざまな通貨建ての高格付債券にバランス良く投資するファンドです。各国経済の景気回復度合いの変化やそれが各通貨の為替相場の強弱に反映されるタイミングについても一様ではないと思われることから、バランス良くさまざまな通貨建ての債券に投資する当ファンドへの投資は、現在の投資環境に適していると考えております。

※現時点での投資判断を示したものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。

以上

## 当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。■当ファンドの取得をご希望の場合には、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、投資に関する最終決定はお客様ご自身でご判断ください。■当ファンドは、値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料中における運用実績等は、過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。■分配金は、収益配分方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。



# ダイワ世界債券ファンド(毎月分配型)

## (愛称:ワールドプライム)

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

### ファンドの特色

主として6本のマザーファンドの受益証券を通じて、外貨建ての公社債等に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざします。1)米ドル、2)カナダ・ドル、3)豪ドル、4)ユーロ等、5)英ポンド、および6)北欧・東欧通貨の各通貨建ての公社債等に均等に投資することをめざします。原則、為替ヘッジは行いません。ダイワ世界債券ファンド(年2回決算型)※との間でスイッチング(乗換え)を行なうことができます。

※ダイワ世界債券ファンド(年2回決算型)については、「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

### ファンドにかかるリスクについて

公社債など値動きのある証券(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、公社債などの価格下落や、発行企業・発行体の経営不安、倒産等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、為替レートの変動の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、投資家の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。基準価額の主な変動要因については、次のとおりです。①公社債の価格変動(価格変動リスクや信用リスクなど) ②外国証券への投資に伴うリスク(為替リスクやカントリー・リスクなど) ③その他(解約申込みに伴うリスクや短期金融資産の信用リスクなど) これらのリスクを含むより詳細な内容は、投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」に記載しておりますのでご確認ください。

### ファンドにかかる手数料等について

ファンドのご購入時や運用期間中には以下の費用がかかります。

#### 直接ご負担いただく費用

##### ◆ 申込手数料

当ファンドの申込手数料の料率の上限は、2.1%(税抜2%)です。

「分配金再投資コース」の収益分配金の再投資の際には、お申込手数料はかかりません。

(スイッチング(乗換え)によるお買付時の申込手数料については現在徴収している販売会社はありません。)

※詳しくは販売会社にお問い合わせください。

##### ◆ 換金(解約)手数料

換金(解約)手数料はありません。

##### ◆ 信託財産留保額

信託財産留保額ははありません。

#### 保有期間中に間接的にご負担いただく費用

##### ◆ 信託報酬

信託報酬の総額は、ファンドの計算期間を通じて毎日、ファンドの純資産総額に年1.3125%(税抜1.25%)の率を乗じて得た額とし、ファンドよりご負担いただきます。

##### ◆ その他の費用

監査報酬、有価証券等の売買にかかる手数料、資産を外国で保管する場合の費用等をご負担いただきます。(その他の費用については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。)

当該手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「手数料等及び税金」に記載しておりますのでご確認ください。

販売会社:

## 大和証券

Daiwa Securities

商号等

大和証券株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第108号

加入協会

日本証券業協会  
社団法人 日本証券投資顧問業協会  
社団法人 金融先物取引業協会

設定・運用:

## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

商号等

大和証券投資信託委託株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号

加入協会

社団法人投資信託協会  
社団法人日本証券投資顧問業協会

### 当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。■当ファンドの取得をご希望の場合には、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。投資に関する最終決定はお客様自身でご判断ください。■当ファンドは、値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料中における運用実績等は、過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。■分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。